

## 11. その他中心市街地の活性化のために必要な事項

### [1] 基本計画に掲げる事業等の推進上の留意事項

本計画に位置付けられている事業が、実践的、試行的な活動に裏付けられている事例として、次の点があげられる。

#### ①産直・アンテナショップ（中心市街地活性化実験店舗）

中心市街地の駅前御幸通りの旧セブンイレブンにおいて、農業関係者、石岡あきんどの会（石岡市内の若手経営者、後継者で設立）により、農産物直売と石岡の季節のお菓子やお値打ち品を取り揃えたアンテナショップを実験的に実施し、空き店舗活用の可能性について試行的取組を行った。

#### ■実施概要

- 実施日：平成20年2月2日（土）～3月2日（日）の土・日曜日及び祝日の11日間
- 営業時間：午前11時～午後6時
- 場 所：御幸通り「旧セブンイレブン」
- 実施成果：期間中の来場者数 1,516人（1日平均137.8人）  
 期間中のお買い上げ客数 874人（1日平均79.5人）  
 期間中の売上げ 570,145円（1日平均51,831円）

#### ②散策ルートづくり、案内サイン・説明板等のデザインコンセプトづくりのためのワークショップ

中心市街地において、来街者が街なかを楽しみながら回遊できる散策ルートの設定、案内サインや各資源の解説・説明サインのデザインコンセプトを、市民ワークショップにより検討を行った。

案内サインや各資源の解説・説明サインは、本ワークショップをふまえ、平成20年度内に整備を行った。

#### ■市民ワークショップの経過

	開催日時・場所	検討内容
第1回	平成20年6月27日 石岡市民会館	・案内資源の設定 ・散策ルートの設定
第2回	平成20年7月16日 石岡市民会館	・案内資源の確認 ・案内サインの状況把握(まち歩きによる確認)
第3回	平成20年7月24日 石岡市民会館	・案内資源及びルートの確認、史跡説明サインのデザイン ・案内サインの設置箇所、改善事項 ・登録文化財説明サインのデザイン
第4回	平成20年8月4日 石岡市民会館	・案内サインについてのまとめ
第5回	平成20年12月9日 石岡市民会館	・散策ルート、案内サイン設置箇所の報告 ・史跡説明サインの内容

## [2] 都市計画との調和等

総合計画、都市計画マスタープラン以外で、次の計画において、石岡市中心市街地の取組方向の整合性をとっている。

### ①新市建設計画（石岡市）

平成 17 年度に策定した新市建設計画（石岡市・八郷町合併協議会）において、都市基盤整備において、石岡駅を新市の顔とし、駅を拠点とした中心市街地の活性化を促進することを位置付けている。

商業・商店街活性化においては、商工会議所、商工会、TMOなどとの連携、中心市街地活性化プランに基づく、電線類地中化、駅周辺整備、バリアフリー化を進め、新市の顔としてふさわしい賑わいのある空間づくりを行い、まちの活性化を促進することが位置付けられている

### ②石岡市中心市街地地区都市再生整備計画（石岡市）

石岡市中心市街地の一部を含む区域約 87ha において、都市再生整備計画を策定し、平成 18 年度から平成 22 年度までに、道路整備、公園整備、デマンド交通システム運行社会実験等の事業を進めている。

### ③石岡都市計画区域マスタープラン（茨城県）

本マスタープランでは石岡駅周辺を、広域を対象として商業・業務機能等が集積したにぎわいと活力のある都市拠点とし、石岡駅の西側は、景観に配慮し歴史的環境と調和した商店街の再生を図るなど中心市街地の活性化を進める地域として位置付けている。

## [3] その他の事項

### ①茨城県中心市街地活性化支援調整会議

茨城県において、市町村の中心市街地活性化の取組みに対する総合的な支援を目的に、「市町村の中心市街地活性化のための基本計画の作成に対する助言」、「市町村の基本計画に基づく個別事業に助言」等を行う、茨城県中心市街地活性化支援調整会議が設置されている。

本基本計画の策定に際しては、当該会議との調整を図るとともに、茨城県には、石岡商工会議所が中心となった中心市街地活性化協議会（設立準備会段階から）にオブザーバーとして参加していただき、助言を得ている。